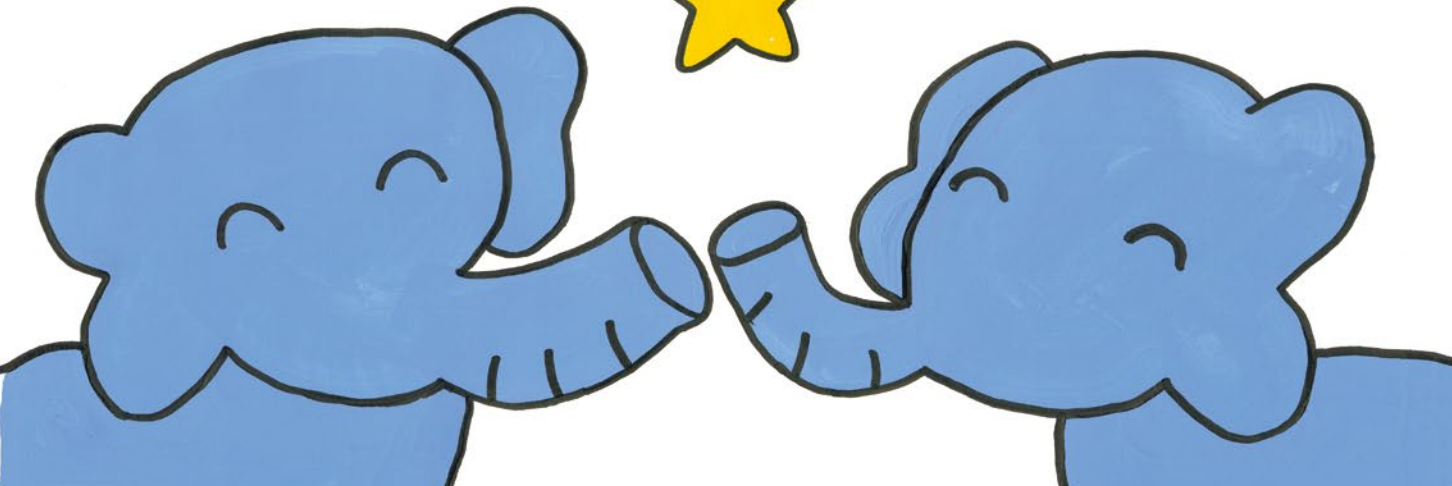


またまた、新しいおぼろうどん



ぶん あかま 赤間 まゆみ
え ちゅうがくせい もう中学生



もったいないぞう
のついでにぞう

ぶん ^{あかま}赤間 まゆみ
え ^{ちゅうがくせい}もう中学生

松本市

この絵本に登場する「もったいないぞう」

「のこさんぞう」の力を借りて、

みなさんに食べものを大切にする心や

作ってくれた方への感謝の気持ちを忘れない心を

はぐく育んでもらえるとうれしいです。

—— ^{あかま}赤間 まゆみ

ぼくも信州のおいしさ、

やさしさと大きく元気に育ちました。

みんなもこの絵本を読んで食べ残しをせず、

大きく元気に育ってね。

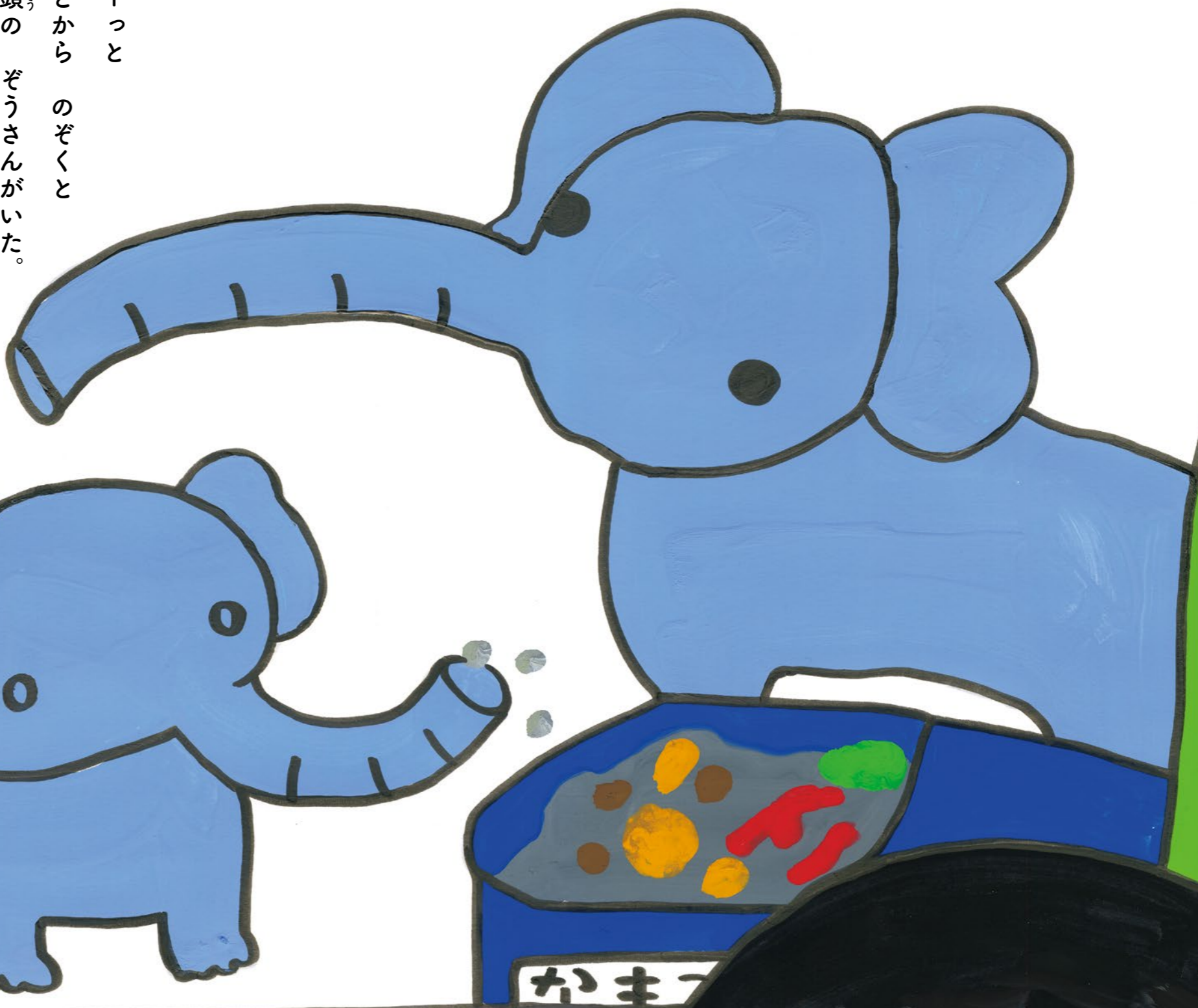
—— ^{ちゅうがくせい}もう中学生



ある夜^{よる} よっちゃんは
大きな声^{こえ}に おどろいて
目^めをさました。

「もったいないぞう」
「のこさんぞう」





そーっと

まどから のぞくと

2頭^{どう}の ぞうさんがいた。

「もったいないぞう」

「のこさんぞう」

月の^{つき} 光^{ひかり}の中^{なか}

よく 見^みてみると

せなかに なにかのせている。

かま



「あっ、あれは

ぼくがのこしたピーマン」

「いつもすてている

だいこんや にんじんのかわ

「サラダのキャベツや

レタスのはっぱ」



よっちゃんは こっそり

ぞうさんに ついていった。

すると、となりの まゆちゃんも

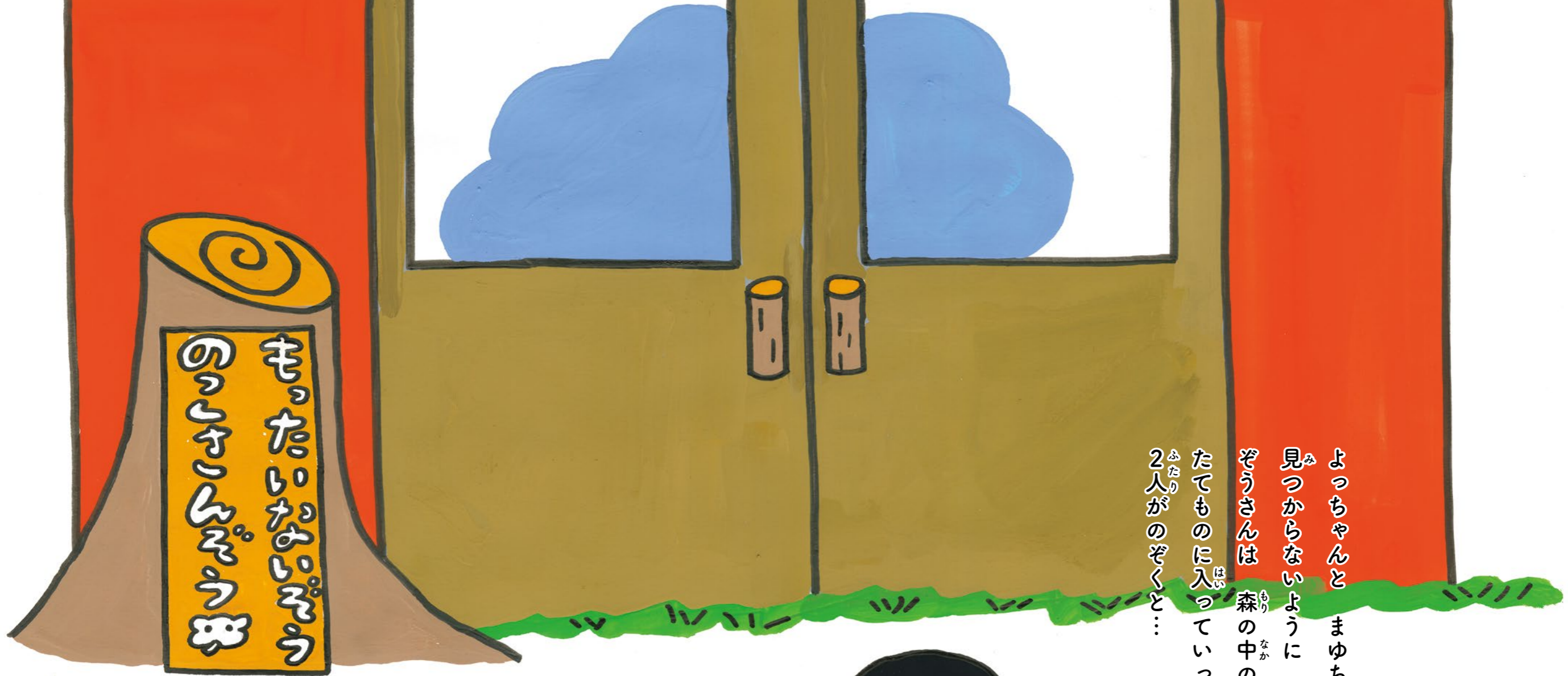
ついてきた。

「まゆちゃんの おうちにも

ぞうさん 来たの？」

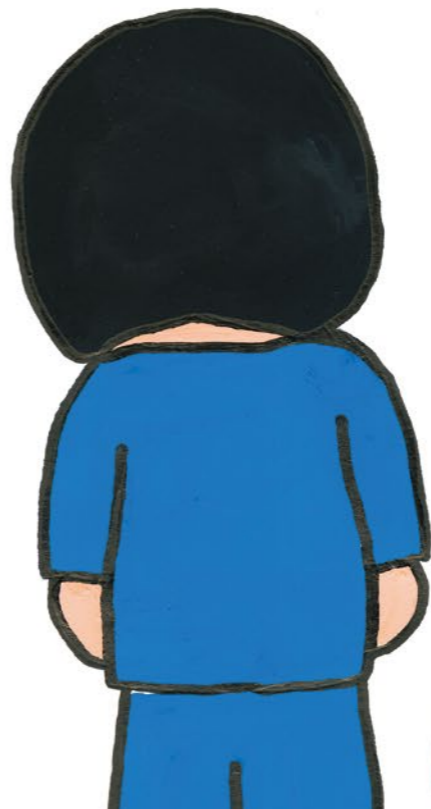
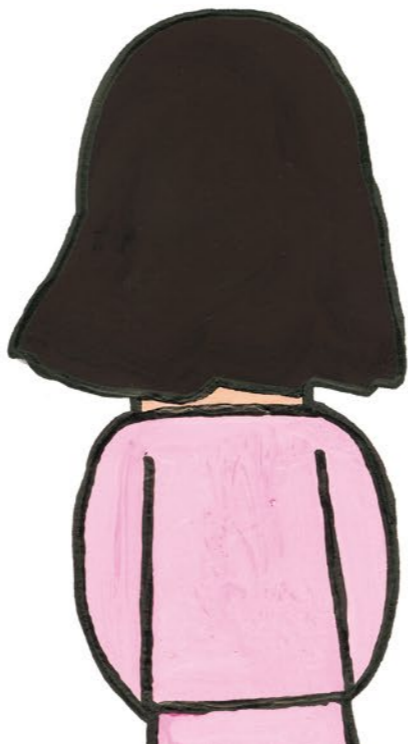
「ぞうさんが のこした おかずを

もっていったの」



もったいなく、
500円

よっちゃんど まゆちゃんが
見つからないように ついていくと
ぞうさんは 森の中の
たてものに入^{はい}っていった。
ふたり 2人がのぞくと…



「あっ、きゅうしょくの

ちょうりいんさん」

「近くで やさいをつくっている

おじさんと おばさんもいる」

みんな しょんぼりしながら

りょうりをしている。



ふたり
2人も何だか かなしいきもちで
そのまま見ていると

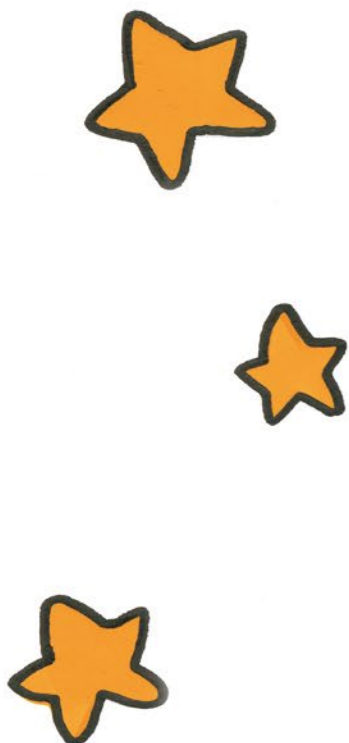


ぞうさんが あつめてきた のこりものが
みるみるうちに おいしそうな りょうりに
だいへんしん。

食べたい!



ふたり
2人は思わず
大きな声で
「食べたい!」
とさけんでしまった。



いいよ



「おじさん、おばさん、

のこしてごめんなさい」

「おいしいレシピ、

お母^{かあ}さんに教^{おし}えてもいい？」

みんな、にっこりわらって

「いいよ」といってくれた。





トントントント

「お母さん、お母さん！」
よっちゃんは
お母さんの 朝ごはんをつくる音で
とびおきた。



「よっちゃん、おはよう」という

お母さんに

よっちゃんは いっきにさげんだ。



「だいこんのかわは

きんぴらに なるんだって」

「キャベツや レタスの はっぱで

うすやきが つくれるよ」

「肉じゃがは カレーにへんしん」

「ぼく、何でも のこさず食^たべるよ」



よっちゃん
と
まゆちゃんの町には
2頭のぞうさんは
来なくなつた。
もう、もっていくもの
ないからね。

ぶん
あかま
赤間 まゆみ

松本市が実施した食品ロス削減啓発用絵本原作公募にて、全国から寄せられた78作品の中から「もったいないぞう のこさんぞう」が最優秀賞受賞。長野県安曇野市在住。

え
ちゅうがくせい
もう中学生

長野県長野市川中島町出身。よしもとクリエイティブ・エージェンシー所属。段ボールにイラストを描いた自作の大道具・小道具を使用したコントで知られるピン芸人。独特な「もう中学生ワールド」で、子どもから大人まで楽しませます。

もったいないぞう のこさんぞう

2019年 1月 発行

発行 松本市環境部環境政策課
〒390-8620 長野県松本市丸の内3番7号

デザイン MAG MAG inc.

編集 株式会社タナカラ

印刷製本 株式会社プラルト

あとかき

「もったいないぞう のこさんぞう」のお話を^{はなし}読んで、^よどんなことを感じましたか？^{かん}食べものを大切にする^{たいせつ}気持ちを^{わす}忘れずに、おいしく^{たの}楽しく^{しょくじ}食事ができると、^{きも}ぞうさんたちもきっとよろこぶ^{おも}と思いますよ。

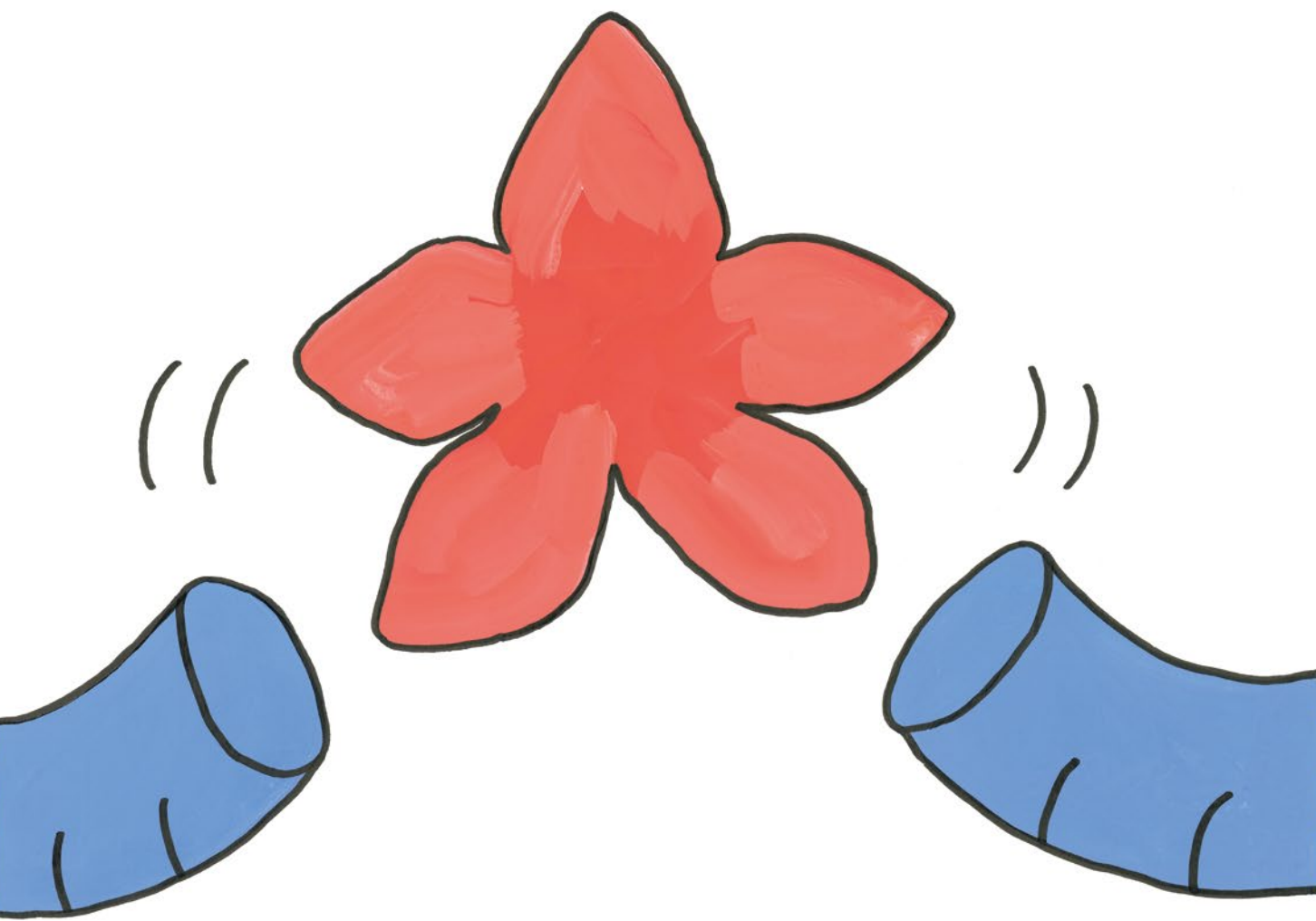
～保護者のみなさまへ～

松本市では、まだ食べられるのに捨てられてしまうものの「食品ロス」を減らすための取組みを行っています。この絵本をきっかけに、毎日の生活のなかで、食べものを無駄にしてしまっていることがないか振り返っていただければ幸いです。

お話の中に出てきた、食材を無駄なく使う「もったいないクッキング」のレシピをホームページで公開しています。ぜひお子さんと一緒に、挑戦してみてください。



松本市ホームページ
「もったいないクッキング」



松本市